



# すまいるだより

vol 26

【子育てのご相談】  
子育て世代包括支援センター「えがお」（健康福祉課内）  
電話 0241(62)6170  
メール egaon@hainai.zu.or.jp

**子** 育て世代包括支援センター「えがお」では、保育所や幼稚園など、現場の先生からお話しを聴く機会がたくさんあります。

**現** 場を訪問すると、感染症対応で厳しい状況でも、これまでと変わらぬ子どもたちの笑い声が聞こえてきます。子どもたちに寄り添う先生方があってこそ、安心・安全な日常生活だと実感する今日この頃です。

**さ** て、ある保育士さんから「子どもたちと過ごしていると、ユニークな発想に驚かされ、予想もしない出来事が起こります。私が非常識だと思っていたことをひっくり返されてばかりです。同じ子どもは一人もいない。大切なことですね。」と、教えてもらう機会がありました。

行動や物事の捉え方は、大人の常識や枠に収まらない自由があるからこそ、興味深いのです。

**違** い（多様性）を認めることで理解が生まれ、新しい発見につながります。大人は、人に合わせるこの大切さや集団行動で学ぶことを重視して、そこからはみ出す行動を修正しようと努める傾向にあるようです。前述の保育士さんも、集団行動からはみ出してしまふ子どもと、どうやって関わればよいか悩んでいるようでした。

**集** 団に合わせることや、一斉指導に適應することを学ぶことも必要ですが、今回は少し違った視点で子どもの発達を考えていきます。最近話題になっている「ニューロ・ダイバシティ（脳の多様性）」という考え方は、

「ニューロ・ダイバシティとは、すべての脳にそれぞれ違いがあり、違いは優劣ではなく個性だとする考え方の総称です。脳の違いによって、それぞれ得意なことや苦手なことは異なり、違いを治療したり、修正したりする必要はないとされます。」

**パ** ソコンを例に考えてみましょう。マック（Mac）とウィンドウズ（Windows）のパソコンは、同じような見方で同じような作業を行うことができます。ただし、マックでウィンドウズのソフトは動きません。同じようでも実際は違う：人にも同じことが言えます。

**脳** のタイプも多数派と少数派に分かれます。多数派ができない人の脳が壊れているわけではありません。

**少** 数派の脳を持つ人々を、現代では「発達障害」と表現することが多くなりました。しかし、集団に合わせる力が苦手で、すごい記憶力を持っていたり、誰も思いつかないアイデアを持ち合わせていることがあります。

**電** 気・自動車・ワクチンなや技術の進歩は、脳の多様性が生み出してきた歴史です。脳神経科学の分野では、同じ物事の捉え方をするタイプの人が99%いる集団に課題を与えたとき、その課題は残りの1%の人によって解決されるということが何度も示されています。

ニューロ・ダイバシティで子どもの発達を捉えるとき、集団行動に合わない子や緊張しすぎる子、場の空気が読めない子など、「苦手さ」が目立つタイプの子どもたちを「困らせる子ども」と捉えることは

**み** んなそれぞれ違うけれども、みんな大切な存在であることに変わりはありません。多数派と同じ扱いを強要するのではなく、子どもたちのタイプに合わせた対応が求められます。

**些** 細な違いで苦しむお子さからいなくなるよう願っています。

【おすすめ図書】  
「かみさまからのおくりもの」 ひぐちみちこ  
「かみさまからのおくりもの」 ひぐちみちこ



## 義務教育の場を感染症から守るために 町立の小・中学校にマスクを寄贈



星教育長にマスクを手渡す齊藤さん

国内では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数も減少し、緊急事態宣言が解除されるなど、日常生活に落ち着きを取り戻しつつあります。

しかしながら、感染症予防の徹底は不可欠であり、マスクの需要は依然として高い状態が続いています。

5月7日、合同会社キズナ（渡部友一代表社員）の皆さんから町立の小・中学校にマスクが贈られました。

教育長室を訪れた渡部代表社員と齊藤さんは「感染症予防に役立ててください」とお話しされ、星教育長からは「学校教育の場を感染症から守るために、活用させていただきます」と、感謝の意が示されました。

## 藍染を使用したマスクを作製

地域おこし協力隊の二人が町に「藍染マスク」を寄贈



左から奥会津博物館の渡邊学芸員、川嶋さん、大宅町長、野村さん



寄贈された藍染マスク

4月から奥会津博物館で活動を開始した、地域おこし協力隊の川嶋恵さんと野村美登里さん。お二人は、藍染文化や町のPRを目的に、観光大使「んだべえ」などをデザインした、藍染マスクを作製されました。

4月28日、町長室を訪れたお二人は、「町の新型コロナウイルス感染症対策に活用してください」と、大宅町長に藍染マスクを手渡しました。

## 百歳賀寿

おめでとうございます



プロフィール

大山茂野さん（下町）

大正9年4月28日 生まれ

【長寿の秘訣】

陽気に過ごし、常に感謝の気持ち表現すること

【家族】

子4人・孫7人・ひ孫12人



新型コロナウイルス感染症の影響で贈呈式は行えず、南郷ホームから写真を提供いただきました

納税に関するお問い合わせ先は

税務課（町県民税等）	Tel 0241-62-6110
健康福祉課（介護保険料）	Tel 0241-62-5050
住民生活課 （後期高齢者医療保険料・国民年金）	Tel 0241-62-6120
館岩総合支所 町民課	Tel 0241-78-3345
伊南総合支所 町民課	Tel 0241-76-7712
南郷総合支所 町民課	Tel 0241-72-2224

## 6月の納税こよみ

町県民税 第1期  
国民年金 5月分

納期限は6月30日（火）です

